



明けましておめでと〜いぎんぎんします。



沖縄県商工会連合会
会長 荻堂盛秀

新年あけましておめでと〜いぎんぎんします。皆様には平成二十一年の輝かしい新年をお迎えのことと衷心よりお慶び申し上げますとともに、本会の事業推進並びに組織運営に多大なご支援ご協力を賜り感謝を申し上げます。

さて、昨年の県内景況は観光関連で好調を維持したものの、エネルギーや原材料の高騰に加え、金融不安に端を発した世界経済の減速等により、景気の停滞感が強まり、中小企業の経営環境は年末にかけ資金繰り対策に苦慮するなど、厳しい状況が続いております。

本会も、この現状に対応し、各種緊急金融対策支援資金を斡旋・紹介する窓口を、全商工会並びに地域力連携拠点に設置し、その周知・活用の促進を図っております。

会員各位の自助努力に加え、これらの支援策によって何とか危機を乗り越え、新しい年を迎えた皆様も多かったことと思いますが、本年も一段と厳しい経営環

境が想定されます。

このような中、本会では「商工会組織を改革し、地域再生、元気企業の輩出を」のスローガンの下、小規模事業者支援体制の再構築のための調査研究や、創業・経営革新支援対策、人事評価制度の推進、職員の資質向上対策等の事業を積極的に推進してまいりました。

特に新規事業である地域力連携拠点事業においては、宜野湾市商工会が優秀地域力連携拠点中小企業庁長官賞、名護市商工会が沖縄総合事務局長賞を受賞するなど顕著な成果が見られました。

又、県産業まつりと合わせて開催しました第十二回「ありんくりん市」においては、その売上額がまつり全体の約10%を占め

るなど、継続事業の着実な歩みもありました。

昨年末より、政府においても減税や雇用対策等の経済対策を実施されておりますが、今後も景気対策については実効ある推進方を期待いたします。

本年も、商工会はこの非常事態に際し、関係機関のご協力を得ながら、組織を挙げて中小零細企業に対し、最大限の支援を行う決意です。

結びに、皆様のご多幸とご健勝を心から祈念いたしまして、年頭のご挨拶いたします。

平成二十一年 元旦



沖縄県
知事 仲井眞弘多

新年おめでと〜いぎんぎんします。

県民の皆様には、経済社会情勢が厳しい中、決意を新たに、希望を持って、新年をお迎えのことと思えます。

私が知事に就任してから二年が経過し、

この間、雇用の創出・拡大や企業誘致など産業の振興に全力を尽くすとともに、医療・福祉の充実、社会資本の整備、農業及び離島・過疎地域の振興、教育・文化の振興など、あらゆる面で施策を講じてきました。

昨年は、沖縄県の産業を支える中小企業の振興を図るための沖縄県中小企業にも、IT津梁パーク構想の推進などに取り組みでまいりました。

産業雇用拡大県民運動(みんなでグッジョブ運動)は二年目に入り、企業や学校などで、運動の輪が着実に広がっております。

沖縄振興計画も三年を残すところとなり、また、地方分権改革の推進や道州制の導入の議論が本格化するなど、沖縄県を取り巻く状況は、変化しつつあります。このような中において今年、沖縄の将来を見据え、自立的発展の基礎を地道に固めていく年にしたいと考えております。

「沖縄二十一世紀ビジョン」は、将来の沖縄の方向を示す沖縄県初の長期構想であり、今年中の策定に向けて作業を進めていきます。県民の皆様には、御意見、御提言をお寄せいただくとともに、活発な議論をお願いいたします。

また、昨年来の原油価格の高騰及び世

界的な金融危機は、沖縄県の経済活動及び県民生活に深刻な影響を及ぼしていることから、中小企業、農業者及び漁業者への支援等の経済対策を迅速に講じてまいります。

厳しい情勢に立ち向かい、自立した経済の下で沖縄が発展していけるよう、県議会の御理解と御協力を得ながら、二つの施策を丁寧に着実に進めていきたいと考えております。

新しい年が、県民の皆様にとってよい年になりますよう、祈念しまして、新年のごあいさついたします。

平成二十一年二月二日